EPSON EasyMP™ 活用ガイド



EMP-745 EMP-737





ネットワーク経由でコンピュータの映像を 投写する(Network Screen)

ツールバーの使い方	3
各アイコンの名称と働き	3
E ズーム	4
基本設定	4
接続したいプロジェクターが表示されないときは	5
IP アドレスを指定して接続	5
グループを作成して接続	8
無線 LAN のセキュリティ対策	15
簡単接続モードで暗号化通信したいとき	16
簡単接続モード時に不正アクセスを防ぐ(NS Protect)	16
無線 LAN アクセスポイントモードで暗号化方式・	
認証方式を設定する	17
ESSID 自動検索を無効にする	21

プレゼンテーションの準備

(EMP SlideMaker2の使い方)

コンピュータレスでプレゼンテーションするときの	
流れ	23
シナリオに組み込めるファイル	24
シナリオの作成	25
シナリオのプロパティを設定する	25
PowerPoint ファイルをシナリオに組み込む	27
画像や動画ファイルをシナリオに組み込む	29
シナリオを編集する	31
シナリオの転送	32
こんなときには	34
シナリオの簡易作成	34
コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認する	35
アニメーションの設定を行う	36

プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)

CardPlayer で投写できるファイル	39
CardPlayer の使用方法	40
CardPlayer の起動方法	40
CardPlayer の終了方法	41
CardPlayer の基本操作	42
シナリオの投写	45
シナリオの再生	45
プレゼンテーション中の操作	46
シナリオからスライドを選んで投写する	46
シナリオの編集	47
画像・動画ファイルの投写	49
画像・動画を投写する	49
フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に投写	する
(スライドショー)	50
画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを	
設定する	51

コンピュータを使ってプロジェクターの 設定・監視・制御をする

Web ブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb).	54
EasyWeb を表示する	54
プロジェクターの設定	55
プロジェクターの制御	55
メール通知機能で異常を通知する	56
メール通知機能の設定	56
異常通知のメールが送られてきたら	57
SNMP を使って管理する	58



ネットワーク経由でコンピュータの映像を 投写する(Network Screen)

ここでは、Network Screen使用時に接続したいプロジェクターが見つからなかったときと、無線LANのセキュリティ対策について 説明します。

ツールバーの使い方	3
 各アイコンの名称と働き	3
• E ズーム	4
●基本設定	4
接続したいプロジェクターが表示されないときは.	5
• IP アドレスを指定して接続	5
•グループを作成して接続	8
・グループの作成	8
・グループを使用して接続	11
・グループのエクスポート(書出し)	12
・グループのインポート(読込み)	13

無線LANのセキュリティ対策	15
•簡単接続モードで暗号化通信したいとき	. 16
 簡単接続モード時に不正アクセスを防ぐ 	
(NS Protect)	. 16
• 無線 LAN アクセスポイントモードで暗号化方式·	
認証方式を設定する	. 17
 ESSID 自動検索を無効にする 	. 21

ツールバーの使い方

各アイコンの名称と働き

コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続すると、次の ツールバーがコンピュータの画面に表示されます。



各アイコンの働きは以下のとおりです。

1	2	ヘルプ	EMP NS Connectionのヘルプを表示します。
2		接続状況 画面	クリックするたびに、接続状況画面の表示/非 表示を切り替えます。接続状況画面を表示す ると、現在接続しているプロジェクター名の アイコンが緑に表示されています。接続状況 画面では、接続切り替えや追加して接続する などの操作はできません。
3		プロジェク ター操作URL 表示	EasyWebが表示されます。 ● p.54
4		静止	リモコンの[静止]ボタンと同じ機能です。 ●『取扱説明書』「静止機能」
5	X	ミュート	リモコンの[A/Vミュート]ボタンと同じ機能 です。●『取扱説明書』「A/Vミュート機能」
6	٣	Eズーム	プロジェクター本体のEズーム機能と同じ機 能です。設定画面を表示して、見たい部分を 拡大できます。 ● p.4

7	(F	基本設定	設定画面を表示して、明るさ、コントラスト、 カラーモードを設定できます。 ● p.4 プロジェクター本体の環境設定メニューの 「画質調整」メニューで設定するのと同様に設 定できます。 ●『取扱説明書』「画質調整メ ニュー」
8	6	ビデオ系ソー ス切替	クリックするたびに、[ビデオ]端子、または [S-ビデオ]端子の映像に切り替わります。
9	133	PC系ソース 切替	クリックするたびに、[コンピュータ/コン ポーネントビデオ]端子、またはEasyMPの映 像に切り替わります。
10	니> 切断	切断	現在通信中のプロジェクターとのネットワー ク接続を切断します。
1	I	動作状態イン ジケータ	コンピュータとプロジェクターがネットワー ク接続しているときに、上、中、下の各インジ ケータが交互に点滅します。正しく接続でき ていないときは消灯しています。
12		終了	現在通信中のプロジェクターとのネットワーク接続を切断し、EMP NS Connectionを終了します。
13	•	最小化	ツールバーが最小化され、Windowsの場合は タスクバーにボタンとして表示されます。 Macintoshの場合はDockに格納されます

EasyMP 活用ガイド **TOP**

ツールバーの使い方

Eズーム

「Eズーム」アイコンをクリックすると、次の設定画面が表示され、 ズーム倍率や位置などの調整ができます。



基本設定

「基本設定」アイコンをクリックすると、次の設定画面が表示され、 明るさ、コントラスト、カラーモードの調整ができます。



Eズーム	Eズームの倍率を調整します。 「+」ボタン:拡大する 「-」ボタン:拡大した結果を縮小する リモコンの[Φ][Θ]ボタンと同じ機能です。
位置	拡大/縮小表示する部分を指定します。 プロジェクター本体のEズーム機能で、ターゲットスコー プを移動して拡大や縮小をする部分を指定する機能と同 じです。 ●『取扱説明書』「Eズーム機能」
ズームキャン セル	Eズームを解除して元の表示に戻ります。
操作対象プロ ジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示しています。 複数のプロジェクターに接続している場合は、Eズームの 操作をするプロジェクターを選択します。
閉じる	この画面を閉じます。

明るさ	投写映像の明るさを調整します。 「+」ボタン:明るくなる 「-」ボタン:暗くなる
コントラスト	画面の明暗の差を調整します。 「+」ボタン:明暗の差が大きくなる 「-」ボタン:明暗の差が小さくなる
カラーモード	リモコンの[カラーモード]ボタンと同じ機能です。 「カラーモード」ボタンをクリックするたびに、以下のように設定が切り替わります。 ダイナミック → プレゼンテーション
操作対象プロ ジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示しています。複数の プロジェクターに接続している場合は、基本設定を行う プロジェクターを選択します。
閉じる	この画面を閉じます。

接続したいプロジェクターが表示されないときは



接続したいプロジェクターが EMP NS Connection のプロジェクター 選択画面に表示されない場合は、次の点を確認してください。

- •無線LAN接続の場合、電波が届かないか、弱くありませんか?
- 接続モードを正しく設定していますか?
- サブネットが異なっていませんか?

サブネットが異なるネットワーク上のプロジェクターに接続する 場合は、「IP 指定接続モード」を使うと接続できます。IP 指定接続 モードは、接続したいプロジェクターのIPアドレスやを指定して接 続する方法です。

Windowsで、簡単接続モードの場合は、次の点も確認してください。

- コンピュータの無線 LAN ドライバが NDIS5.1 に対応しています か?(Windows 2000/XPのみ)
- 以下の場合、コンピュータ側で使用している ESSID(ネットワーク 名)がプロジェクター側のESSIDと同じ名前になっていますか?
 - ・Windows 98/MEの場合
 - ・ESSID自動検索を無効にしている場合

Macintoshの場合は、次の点も確認してください。

- ネットワークの状態が正しいですか?
- ・簡単接続モードの場合、「AirMac: 入」を選択し、適切なプロジェク ターのESSID名を選択していますか?
- ・アクセスポイントモードの場合、「AirMac: 入」を選択し、適切なア クセスポイントを選択していますか?
- ・有線LANモードの場合、「AirMac:切」を選択していますか?
- ●『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「コンピュータで EMP NS Connectionを起動する」

IP アドレスを指定して接続

次の手順で、IP指定接続モードの接続をします。 以降の説明では、断りのない限りWindowsの画面を載せています。 Macintoshでも同等の画面が表示されます。

ポイント

Windows の場合、EMP NS Connection の各画面に表示されている「?」をクリックすると、機能の説明を見ることができます。



●『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「コンピュータで EMP NS Connectionを起動する」の手順1~3

5



次の画面で、「拡張機能」ボタンをクリックします。





「IP指定接続を使用する」をクリックしてチェックマーク を付け、「OK」ボタンをクリックします。

☞ 暗号化通信を使う	
暗号化処理を行うとセキュリティは確保できますが、	
表示速度が遅くなります。	
✓ P指定接続を使用する	
接続グループ:	
グループを選択してください。	
プロジェクターのIPアドレスを指定して接続したり、	
グループを作成しておくことができます。	
▼ ESSID 自動検索を使う	
ESSIDを固定したい場合には、チェックを外してください。コンピュータの設定で接続します。	
「NS Protect 機能を使う (アドホックモードのみ)	
NS Protectlま、無線接続されたコンピュータを不正アクセスから 保護します。アブリケーションによっては通信に不具合を生じる ことがあります。	
3	
LAN切替 OK キャンセル	

5

以下の画面が表示されます。画面の右上に表示されてい る「IP指定接続」をクリックします。





「IP アドレス」に接続したいプロジェクターの IP アドレス を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

EMP NS Connection		
IP指定接続モード	自動検索	18
IPアドレスを入力してください。		
		?
IPアドレス: 192 168 0	30 検索	
登録プロジェクター:		
拡張機能		
	回 📟 🚥 接続	ŧ

接続したいプロジェクターが表示されないときは

EasyMP 活用ガイド

7

IPアドレスが「登録プロジェクター」に追加され、検索中 であることを示すアイコンが表示されます。プロジェク ターが見つかると、「登録プロジェクター」にプロジェク ター名が表示されます。さらにプロジェクターを検索し たい場合は、手順6を繰り返します。

検索したプロジェクターは、「登録プロジェクター」に追加され ていきます。



ポイント

- ・最大16台までプロジェクターを追加できます。17台以上追加すると、最初に追加したものから削除されます。接続できるプロジェクターの台数は最大4台までです。
- EMP NS Connection を終了して次回起動したときは、「登録プロジェクター」に追加したプロジェクターは消去されています。次回以降も同じプロジェクターを表示したい場合は、グループを作成して目的のプロジェクターを登録してください。 p.8

接続先のプロジェクター名をクリックしてチェックマー 8 クを付け、「接続」ボタンをクリックします。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続 され、コンピュータの画面がプロジェクターから投写されま す。



ポイント

- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、
 先に接続していたコンピュータを切断し、後から接続したコン ピュータの映像を投写します。
- 複数のプロジェクターを選択すると、1台のコンピュータの映像 を複数のプロジェクターで投写できます。1台のコンピュータの 映像を同時に投写できるプロジェクターの台数は、最大4台まで です。
- 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

グループを作成して接続

頻繁にネットワーク経由で接続するプロジェクターをグループに して登録できます。EMP NS Connection では最大 16 台までのプロ ジェクターを1つのグループに登録できます。

例えば、支店ごとにネットワーク接続したプロジェクターがある環 境で、特定のエリアにある支店のプロジェクターに投写したい場合 は、エリア内の支店のプロジェクターを1つのグループに登録して おきます。一度グループに登録すれば、接続時にグループを指定す るだけで目的の支店のプロジェクターと接続できるため、接続のた びにプロジェクターを1つずつ検索する手間を省けます。

グループ情報はファイルへの書き出し(エクスポート)と読み込み (インポート)ができます。ネットワーク管理者が作成しエクスポー トしたグループから、必要に応じて接続したいグループをインポー トすれば、簡単に目的のプロジェクターと接続できます。

■ グループの作成

次の手順でグループを作成します。



IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの拡張機能画面を表示します。 ● p.5

2「IP指定接続を使用する」と「グループー覧を使用する」を クリックしてチェックマークを付け、「詳細設定」ボタン をクリックします。







「0.0.0.0」「127.x.x.x」「224.0.0.0 ~ 255.255.255.255」は使用できません(xは0~255の数字)。



EasyMP 活用ガイド

6

IPアドレスが登録プロジェクター一覧に追加され、検索 中であることを示すアイコンが表示されます。プロジェ クターが見つかると、一覧にプロジェクター名が表示さ れます。さらにプロジェクターを登録したい場合は、手順 5を繰り返します。

登録したプロジェクターは、一覧に追加されていきます。





7 登録したいプロジェクターをすべて一覧に追加したら、 「保存」ボタンをクリックします。「グループを保存します。よろしいですか?」というメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

グループが保存されます。

メッセージ画面で「いいえ」ボタンをクリックすると、グループは保存されません。



既存のグループを編集して保存する場合や、保存するグループと同 じ名前がすでに「接続グループ」にあった場合は、「同一名称のグ ループが登録されています。上書きしますか?」(Windows)、また は「内容を更新してよろしいですか?」(Macintosh)というメッ セージが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると上書きしま す。別名で保存したい場合は、「いいえ」ボタンをクリックして、グ ループ詳細設定画面の「接続グループ」でグループ名を入力して「保 存」ボタンをクリックします。



「閉じる」ボタンをクリックします。

グループ詳細設定画面を閉じ、拡張機能画面に戻ります。

オイント

グループを削除したい場合は、グループ設定画面の「接続グループ」 で削除したいグループを選択し、「<削除」ボタンをクリックしま す。

■ グループを使用して接続

次の手順で、グループに登録したプロジェクターに接続します。 「グループの作成」でグループを作成し、引き続きこの手順を実行す る場合は、手順3から始めてください。

操作

1

「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの拡張機能画面を表示します。 **(*** p.5**)

2

「IP指定接続を使用する」と「グループー覧を使用する」を クリックしてチェックマークを付けます。

拡張機能	X	
▼ 暗号化通信を使う	1	
暗号化処理を行うとセキュリティは確保できますが、		
表示速度が遅くなります。)	
 ✓ 11指定接続を使用する ✓ ジルーブー覧を使用する 		
接続グルーブ: グループを選択してください。 ▼ 詳細設定		
 プロジェクターのIPアドレスを指定して接続したり、 グループを作成しておくことができます。		
	,	
☑ ESSID 自動検索を使う		
ESSIDを固定したい場合には、チェックを外してください。コンピュータの設定で接続します。		
🔲 NS Protect 機能を使う (アドホックモードのみ)		
NS Protect」は、無線接続されたコンピュータを不正アクセスから 保護します。アプリケーションによっては通信に不具合を生じる ことがあります。		
0	ļ	
LAN切替 OK キャンセル		

3 「接続グループ」で接続したいグループを選択し、「OK」ボ タンをクリックします。





以下の画面が表示された場合は、画面の右上に表示され ている「IP指定接続」をクリックします。

画面の左上に「IP指定接続モード」と表示されている場合は、何もせずに手順5に進みます。



5 グループに登録されているプロジェクターが「登録プロ ジェクター」に表示されます。接続先のプロジェクター名 をクリックしてチェックマークを付け、「接続」ボタンを

をクリックしてチェックマークを付け、「接続」ボタンを クリックします。 プロジェクタータはプロジェクターの FaceWID 待機画面に表

プロジェクター名は、プロジェクターの EasyMP 待機画面に表示されています。



グループのエクスポート(書出し)
 次の手順でグループをエクスポートします。



• グループ作成中または編集中は、エクスポートできません。

操作

 「グループの作成」の手順1、2を実行し、グループ詳細設定 画面を表示します。 ● p.8

ターポイント

- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、
 先に接続していたコンピュータを自動的に切断し、後から接続したコンピュータの映像を投写します。
- 複数のプロジェクターを選択すると、1台のコンピュータの映像 を複数のプロジェクターで投写できます。1台のコンピュータの 映像を同時に投写できるプロジェクターの台数は、最大4台まで です。
- 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、 コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。 2 「エクスポート」(Windows)、または「書出し」 (Macintosh)ボタンをクリックします。

グループ詳細設定	X
ネットワークトのプロジェクターのIPアドレス参	指定して、最大16台までのグループを作成できます。
	٩
	9
接続グループ: グループ3	▼ 新規追加
┌ 登録プロジェクター ────	
IPアドレス:	
<u>追加></u>	💼 Tsurumi-3 217.106.145.115 🔺
<買!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	💼 Yokosuka-1 217.106.145. 94
- 11 814	💼 Kawasaki-2 217.106.145.122
	🖆 Yokohama-7 217.106.145.67
インポート	
エクスポート	保存 削除 閉じる



接続したいプロジェクターが表示されないときは

削除

閉じる

13





接続したいプロジェクターが表示されないときは

表示された画面で、インポートするファイルを選択し、 「開く」ボタンをクリックします。

グループがインポートされ、「接続グループ」のリストにイン ポートしたグループ名が追加されます。

グループ詳細設定		
ネットワーク上のプロジェクターのIPアドレスを	指定して、最大16台までのグループを作成できます。	,
		(
接続グループ: 「グループ3 - 登録プロジェクター	▼ 新規追加	
IPアドレス: ・・・・ 追加>	Tsurumi-3 217.106.145.115	_
< 肖耶余	Yokosuka-1 217.106.145. 94	
	= Yokohama-7 217.106.145.67	
インポート		
エクスポート	保存 削除	閉じる

Windowsの場合

(X)

ポイント

______ 指定できるファイルの拡張子は「.ini」のみです。

Macintoshの場合

指定できるファイルの拡張子は「.prgp」のみです。

インポートしたグループに登録されたプロジェクターに接続した い場合は、「グループを使用して接続」の手順3~5を実行してくださ い。 ● p.11 14

無線LANのセキュリティ対策

無線LANでは、電波を利用してデータのやり取りを行うため、電波の届 く範囲であれば簡単に通信ができるという利点があります。 その反面、電波は壁などの障害物を越えてどこへでも届くため、セキュ リティの設定を行っていないと、特別なツールを使わなくても通信内

容を傍受したり、ネットワークに侵入したりできます。

この問題を防ぐために、次のセキュリティ機能が準備されています。

• データの暗号化

データを暗号化して送信します。データを傍受されても、解読されま せん。

接続の制限(認証)

ユーザー名やパスワードをあらかじめ登録し、登録されている無線 LAN端末だけをネットワークに接続できるようにして、第三者がネッ トワークに接続することを防ぎます。

ファイアウォール

使用しないポートを閉鎖することで、外部からの不正アクセスを防止 します。

本機で使用できるセキュリティ機能は無線 LAN の接続モードによって異なります。

ティの種類	セキュリティ対策	でのセキュリティ対策 ^{※2}
暗号化	暗号化通信	$\frac{WEP}{\bullet}, \frac{WPA}{\bullet}, (\underline{TKIP})$
認証	_	WPA(ホームモード)、 <u>LEAP</u> [→] ● p.17
ファイア	NS Protect ^{※1} ☞ p.16	_

簡単接続モードでの

ヤキュリ

ウォール

※1 Windows XP搭載のコンピュータと接続して使う場合にのみ使 用できます。

※2 接続先のアクセスポイントが同じ機能に対応している場合にの み有効です。

アクセスポイントモード

簡単接続モードで暗号化通信したいとき

Network Screen 実行時に、プロジェクターに送信するコンピュータ 映像のデータを暗号化することができます。データを暗号化する と、セキュリティが確保されますが、通信速度は遅くなります。 以下の手順で、暗号化通信の設定をします。この設定は、1度行えば2 回目以降は操作する必要はありません。

操作

1

2

「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの拡張機能画面を表示します。 **● p.5**

「暗号化通信を使う」をクリックしてチェックマークを付 け、「OK」ボタンをクリックします。



簡単接続モード時に不正アクセスを防ぐ(NS Protect)

NS Protectは、Network Screen用のパーソナルファイアウォールです。 Network Screen の接続や制御に必要なポート以外のすべてのポート を閉鎖して、外部からの不正アクセスを防止します。

NS Protect を利用するには、Windows XP 搭載のコンピュータと接続 して管理者権限を持ったユーザーでログインします。管理者権限の ないユーザーはこの機能が使えません。

以下の手順でNS Protectを有効に設定します。この設定は、1度行えば 2回目以降は操作する必要はありません。

操作



2

「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの拡張機能画面を表示します。 Connectionの拡張機能画面を表示します。 Connectionの拡張機能画面を表示します。 P.5



チェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックします。



無線 LAN アクセスポイントモードで暗号化方式・認証方 式を設定する

無線 LAN アクセスポイントモードで、Network Screen を行うときに 使用する暗号化方式・認証方式を次の中から1つ選択できます。

• WEP

暗号キー(WEPキー)を使ってデータの暗号化を行います。 アクセスポイントとプロジェクター間で、暗号キーが一致しない と通信できない仕組みです。

• WPA

WEPの弱点を補強しセキュリティ強度を向上させた暗号化規格で す。WPAには数種類の暗号化方式がありますが、本機では「<u>TKIP</u>[→]」 を使用します。TKIPはPSKを使い、一定間隔で自動的に暗号キーを 更新するので、暗号キーが固定値である WEP に比べて暗号が解読 されにくくなっています。

WPAは、ユーザー認証機能も備えています。WPAの認証方式には、 認証サーバを使う方法と、認証サーバは使わずコンピュータとア クセスポイントの間で認証を行う方法があります。本機は、認証 サーバを使わない認証方法に対応しています。

• LEAP

独自のユーザー認証機能と暗号化機能を備えたシスコシステムズ 社の無線LAN セキュリティ技術「<u>CCX</u>^{**}」で使用される認証方式の ひとつです。

LEAPを使用するには、認証サーバ⁽(<u>RADIUS サーバ</u>)が必要で す。LEAPでは電子証明書は使わず、パスワードで認証を行います。



操作 1 プロジェクターのカードスロットに無線LANカードを セットします。

2 プロジェクターをEasyMP待機画面にします。 ●『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「プロジェクターを接続待機状態にする」

無線LANのセキュリティ対策



画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、リモコンの「決定]ボタンを押します。





「無線LAN」-「基本設定」ボタンにカーソルを移動し、リ モコンの[決定]ボタンを押します。



5 「アクセスポイントモード」にカーソルを移動し、リモコ ンの[決定]ボタンを押します。

アクセスポイントモードが選択されます。

EasyMP		キャンセル	ОК
Network Screen	環境設定/NetworkScreen/無線LAN/基本設定		
有線LAN 基本設定	簡単接続モード	・ アンテナレ	хи ПППП
無線LAN	アクセスポイントモード	0	
基本設定	プロジェクター名	EMP012345	
セキュリティ	ESSID(ネットワーク名)	EPSON	
ネットワーク	WEBコントロール用パスワード		
メール	プロジェクターキーワード	ON 🕥 0	FF
SNMP	DHCP機能	<u> </u>	FF
	IPアドレス	192.168.200.100	
Card Player	サブネットマスク値	255.255.255.000	
	ゲートウェイアドレス	192.168.200.001	
オプション	MACアドレス	00:00:00:00:00:00	
Enter 決定	● 選択	▲ 最上段へ移動	【 環境設定



「無線LAN」-「セキュリティ」ボタンにカーソルを移動 し、リモコンの[決定]ボタンを押します。



18



セキュリティの「WEP」、「WPA」、「LEAP」から、使用する 暗号化方式・認証方式を選択します。



(8)

設定する項目にカーソルを移動し、各項目を設定します。 項目によっては文字や数値の入力が必要な場合があります。文 字や数値の入力方法は「文字や数値の入力方法」(● p.20)を

ご覧ください。

WEP

<u>WE</u>	<mark>₽</mark> ₩暗号	WEP暗号化の暗号方式を設定します。 「128bit」: 128 (104) bit暗号化を使用する 「64bit」: 64 (40) bit暗号化を使用する	
入力	方式	WEP暗号キーの入力方式を設定します。 「HEX」:HEX(16進)入力 「ASCII」:テキスト入力 テキストによるWEP暗号設定の方法は、アクセスポイン トにより異なります。プロジェクターが参加するネット ワークの管理者に確認し、まず「ASCII」に設定してみてく ださい。	
+-	·ID	WEP暗号IDキーを「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかから選択 します。	
暗号	+	WEP暗号に使用するキーを入力します。プロジェクター が参加するネットワークの管理者の指示に従って、キーを 半角文字で入力します。「WEP暗号」と「入力方式」の設定 により、入力できる文字種・数が異なります。 下記でそれぞれ規制している文字数に満たなかった場合 と、文字数を超える部分は暗号化されません。 「128bit」-「HEX」の場合:0~9とA~F、26文字まで 「64bit」-「HEX」の場合:0~9とA~F、10文字まで 「128bit」-「ASCII」の場合:英数字、13文字まで 「64bit」-「ASCII」の場合:英数字、5文字まで	



WPA

PSK	 PreSharedKey(暗号キー)を半角英数字で入力します。 8文字以上、最大64文字まで入力できます。 PreSharedKeyを入力し、[決定]ボタンで確定すると、設定値はアスタリスク(*)で表示されます。 EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力はできません。EasyWebから設定すると、32文字を超える入力ができます。
	≥ £ 9 ° □ □ .54

※入力内容を変更するには、「クリア」ボタンを選択してリモコンの [決定]ボタンを押し、入力内容を消去してから再度入力します。

LEAP

ユーザ名	認証に使用するユーザ名を半角英数字で入力します(スペースは使用できません)。 最大64文字まで入力できます。 EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力はできま せん。EasyWebから設定すると、32文字を超える入力がで きます。 ● p.54
パスワード	認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。 最大64文字まで入力できます。 パスワードを入力し、[決定]ボタンで確定すると、パス ワードはアスタリスク(*)で表示されます。 EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力はできま せん。EasyWebから設定すると、32文字を超える入力がで きます。 ● p.54

※入力内容を変更するには、「クリア」ボタンを選択してリモコンの [決定]ボタンを押し、入力内容を消去してから再度入力します。



文字や数値の入力方法

文字や数値を入力するには、次の手順で行います。

- 1.入力する項目にカーソルを移動して、リモコンの[決定]ボタンを 押します。カーソルが緑色になり、入力モードになります。
- 2.数字を入力する場合は、リモコンの[数字]ボタンを押したまま、 [テンキー]ボタンで入力します。

文字を入力する場合は、リモコンの[◎]ボタンを上に傾けると、 A~Z→0~9→記号→a~z→スペースの順で切り替わります。下に 傾けると、逆順で切り替わります。[◎]を、傾けたままにすると キーリピートが働き、素早く目的の文字を選択できます。



- 3.2文字以上の文字や数字を入力する場合は、リモコンの[◎]ボタン を右に傾けます。1番目の文字や数字が決定し、2番目の入力位置へ カーソルが移動します。
- 4.文字や数字をすべて入力したら、リモコンの[決定]ボタンを押し て入力を確定します。カーソルが黄色に変わります。



ESSID自動検索を無効にする

Windows 2000/XPを使ったコンピュータでESSIDを固定したい場合は、ESSID自動検索を無効にします。この設定は、1度行えば2回目以降は操作する必要はありません。



ESSID 自動検索を無効にした場合は、コンピュータ側の ESSID を手動で設定する必要があります。

操作

1

2

「IP アドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの拡張機能画面を表示します。 ● p.5

「ESSID 自動検索を使う」をクリックしてチェックマーク を外し、「OK」ボタンをクリックします。

広張機能 ズ
▶ 暗号化通信を使う
暗号化処理を行うとセキュリティは確保できますが、 表示速度が遅くなります。
3
 □ P指定接続を使用する □ グルーブー覧を使用する
接続グルーブ: グループを選択してください。
プロジェクターのIPアドレスを指定して接続したり、 グループを作成しておくことができます。
ESSIDを固定したい場合には、チェックを外してください。コンピュータの設定で接続します。
□ NS Protect 裾能を使う (アドホックモードのみ)
NS Protectは、無線接続されたコンピュータを不正アクセスから 保護します。アプリケーションによっては通信に不具合を生じる ことがあります。
LAN切替 OK キャンセル



プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使い方)

ここでは、シナリオの作成、転送方法について説明しています。

コンピュータレスでプレゼンテーションするときの	
流れ	23
シナリオに組み込めるファイル	24
シナリオの作成	25
・シナリオ作成の流れ	. 25
 シナリオのプロパティを設定する	. 25
• PowerPoint ファイルをシナリオに組み込む	. 27
・PowerPoint ファイル内の全スライドを組み込む	. 28
・サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを	
組み込む	. 29
• 画像や動画ファイルをシナリオに組み込む	.29
•シナリオを編集する	.31
・ファイルやスライドを追加する	. 31
 ・削除する 	. 31
・順番を入れ替える	. 31

シナリオの転送	32
こんなときには	34
 シナリオの簡易作成 	34
 コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認する。 	35
•アニメーションの設定を行う	36

コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ EasyMP 活用ガイド

PowerPoint ファイルや画像・動画ファイルを組み合わせて、投写する順番に並べて1つのファイルとして保存したものを、本書では「シナリオ」と呼びます。シナリオはEMP SlideMaker2で作成します。

EMP SlideMaker2を使うと、元となるファイルを編集せずに、必要な部分を抽出、並び替えて、簡単に、そして効率的にプレゼンテーション資料を準備できます。



作成したシナリオは、コンピュータにセットしたメモリカードまたは USB ストレージに転送します。そのメモリカードまたは USB ストレー ジをプロジェクターにセット(または接続)して、プロジェクターに搭 載のCardPlayerでシナリオを投写します。

USB ストレージの接続 ●『取扱説明書』「USB 機器(デジタルカメラ、 ハードディスク、メモリ)の接続」



EMP SlideMaker2はコンピュータにインストールして使います。 EMP SlideMaker2のインストール方法 ● 『EasyMP ネットワーク設 定ガイド』「コンピュータにEasyMP Softwareをインストールする」



シナリオに組み込めるファイル

シナリオとして、1つのファイルに組み合わせることができるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
PowerPoint	.ppt	Microsoft PowerPoint 2000/2002/ 2003
画像	.bmp	
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、 CMYKカラーモード形式、プログ レッシブ形式のものは再生できま せん。
動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×576 までで、DVDと同じ(シーケンス ヘッダがGOPごとに配置されてい る)形式でないと再生できません。 再生できる音声形式は、MPEG1レ イヤー2です。リニアPCMとAC-3 は再生できません。
音声	.wav	PCM、22.05/44.1/48.0kHz、8/16 ビット

ポイント		
● PowerPointの「スライ	ドショー」メニューで設定	こした画面切り替え
の効果とアニメーショ	ンのうち、シナリオにも	反映されるものは次
のとおりです。		
• スライドイン	• ブラインド	● ボックス
● チェッカーワイプ	・クロール	• ディゾルブ
• ピーク	• ランダムストライプ	• スパイラル
• スプリット	• ストレッチ	• ストリップ
・ターン	• ワイプ	・ズーム
上記以外の画面切り	替えの効果とアニメーショ	ョンは「カット」に置
き換えられます。		
 	動画ファイルをファイル	単独で再生したい場
合は、シナリオにする	必要はありません。メモリ	カードや USB スト
レージにファイルを	そのまま保存したあとで	、プロジェクターに
セットすればCardPlay	yer機能で直接再生して投	:写できます。
☞ p.49		
 動画を再生する場合、 	使用するメモリカードは	、コンパクトフラッ
シュカードまたはカー	-ド型のハードディスク	[、] ライブを推奨しま
す。上記以外のメモリ	カードを使用すると、正し	レく再生できないこ
とがあります。また、	アクセス速度が遅いコン	パクトフラッシュ
カードを使用すると、	正しく再生されなかった	り、音声が音飛びし
たり音が出なくなった	:りすることがあります。	

本機以外のプロジェクターの同梱ソフトで作成したシナリオについて、本機の EMP SlideMaker2 で開くことができるものとできないものは次表のとおりです。

プロジェクター	ソフト	本機のEMP SlideMaker2で開く
EMP-7850 EMP-835 ELP-735	EMP SlideMaker2	0
ELP-8150/8150NL	EMP Scenario	×
ELP-715/505	EMP SlideMaker	×

シナリオの作成

シナリオを作成する前に、次の点を確認してください。

- PowerPoint、画像・動画などの組み合わせるデータは、あらかじめ 作成しておきます。
- ●前述の「シナリオに組み込めるファイル」に記載されているファイ ル以外は使用できません。
 (ア p.24)

■ シナリオ作成の流れ

シナリオの作成は、次の流れで行います。



シナリオが完成したら、「シナリオ転送」を行います。
● p.32

シナリオのプロパティを設定する

操作

1 コンピュータでWindowsを起動し、「スタート」ー「プログ ラム」(または「すべてのプログラム」)-「EPSON Projector」-「EMP SlideMaker2」の順に選択します。 EMP SlideMaker2 が起動し、シナリオのプロパティが表示され ます。

2)次の表を参照して各項目を入力し、「OK」ボタンをクリッ クします。

パティー			×
ノナリオ名(P):	CMPLAN01		
乍業用フォルダ(<u>D</u>):	C#PROGRAM	FILES¥EMP SLIDEMAKER2	参照(<u>B</u>)
背景色	□ BGMを設定	≠3\W ▶ (M)	
	色(<u>C</u>):	•	
	<u>I</u>		
画質			
	C 最高画質(N):	約700KByte/1セル	
	● 高画質(H):	約350KByte/1セル	
	○ 標準(S):	約100KByte/1セル	
	ОК	キャンセル	

シナリオ名	作成するシナリオのファイル名を入力します。 必ず入力してください。アルファベットの大文 字と数字を8文字まで入力できます。次項の作業 用フォルダのディレクトリ名と合わせて127文 字以内になるようにしてください。
作業用フォルダ	シナリオ作成時の作業用フォルダをどこに作成 するかを指定します。なお、作業用フォルダ名は シナリオ名と同名になります。

BGM を設定する	シナリオ再生中にBGMを流したいときにチェッ クマークを付けます。チェックマークを付ける と、音声ファイル(WAVE形式)を選択する画面 が表示されます。この画面で、BGMとして使用す るファイルを選択します。 音声ファイル選択後、右側の「♪」ボタンをクリッ クすると、選択した音声ファイルが再生されます。 「■」ボタンをクリックすると再生を停止します。
背景色	シナリオ中の画像データの背景を選択します。
画質	EMP SlideMaker2ではPowerPointファイルの各ス ライドがJPEGファイルに変換されて保存されま す。この項目では、JPEGファイルに変換されると きの画質を選択します。 「最高画質」、「高画質」、「標準」の順に高画質で保 存されます。「標準」に設定した場合は、他に比べ て画質が粗くなります。「最高画質」、「高画質」を 選択することをお勧めします。 なお、シナリオに直接JPEGファイルを組み込ん だ場合は、この項目の設定にかかわらず、元の JPEGファイルの画質がそのまま適用されます。

ポイント
 設定した内容は、EMP SlideMaker2の「ファイル」ー「プロパティ」で
変更できます。

次の画面が表示されます。

3

┌── フォルダウィンドウ



ファイルウィンドウでクリックしたファイルの内容がサムネイル で表示されます。

ファイルウィンドウ

フォルダウィンドウで選択したフォルダ内のファイルが表示されます。

ポイント

EMP SlideMaker2の各メニューの機能については、 EMP SlideMaker2のヘルプをご覧ください。

PowerPointファイルをシナリオに組み込む

PowerPointファイルは、次の2通りの方法でシナリオに組み込むことができます。

- PowerPointファイル内の全スライドを組み込む p.28
- ・サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを組み込む
 p.29

PowerPoint ファイル内の全スライドを組み込んだ場合、シナリオに 組み込んだあとも PowerPoint で設定したアニメーションが保持さ れ、CardPlayerで投写する際にアニメーションが有効に働きます。 必要なスライドだけを組み込んだ場合は、PowerPoint で設定したア ニメーションはすべて無効となります。

ターポイント

PowerPoint内に組み込まれた動画ファイルは、シナリオ上では再生 できません。

アニメーションを保持しているスライドは、シナリオウィンドウの セルに「.EMA」と表示されます。「.EMA」と表示されたセルをクリッ クすると、アニメーションの各動作がアニメーション確認ウィンド ウに表示されます。

アニメーションを保持していないスライドはセルに「.JPG」と表示 されます。



EasyMP 活用ガイド

 ・お使いのコンピュータに PowerPoint がインストールされていない 場合は、サムネイルを表示することはできません。

- アニメーションは、EMP SlideMaker2のプロパティ画面でも設定できますが、あらかじめ PowerPoint で設定したアニメーションの方が、シナリオ再生時の動作がなめらかです。PowerPoint のスライドにアニメーションを設定したい場合は、PowerPoint で設定することをお薦めします。画像にアニメーションを設定したい場合は、EMP SlideMaker2のプロパティ画面で設定してください。
- PowerPointで設定できるアニメーションで、以下のアニメーションはシナリオにも反映されます。

• スライドイン	• ブラインド	● ボックス
• チェッカーワイプ	・クロール	• ディゾルブ
・ピーク	• ランダムストライプ	• スパイラル
• スプリット	• ストレッチ	• ストリップ
・ターン	• ワイプ	・ズーム
上記以外のアニメー	ションは「カット」に置き	換えられます。

Pian01 pp File001.br

・ 納税工業施設・中心の、
 ・ 決税工業施設・利益したのである
 ・ 公社主要施設・施設における

Page #2

ファイルウィンドウ

My Pictures

•

新製品を刺毒に良り込む
 新製品の証知度を上げる
 会社長の証知度を上げる

サムネイルウィンドウ

28



シナリオの作成

■ サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを組み込む

PowerPointファイルから必要なスライドだけを選んでシナリオにするには、次の手順で組み込みます。ただし、この方法で組み込むと、 PowerPointで設定したアニメーションが無効になります。

操作

4

 ファイルウィンドウで目的のPowerPointファイルアイ コンをクリックします。

2 シナリオに組み込むサムネイルをダブルクリックします。

目的のスライドがシナリオウィンドウに表示されます。

3 複数のスライドを選択して一度に組み込むには、サムネ イルウィンドウで、追加したいスライドを順次クリック していきます。

クリックしたスライドはすべて選択されます。 選択したスライドをもう1度クリックすると、選択が解除され ます。

追加したいスライドをすべて選択したら、選択したスラ イドの1つをシナリオウィンドウの追加したい場所にド ラッグ&ドロップします。

選択したスライドがすべてシナリオに追加されます。

画像や動画ファイルをシナリオに組み込む

画像ファイルや動画ファイルをシナリオに組み込みます。



フォルダウィンドウで、目的のフォルダをクリックします。

操作

ファイルウィンドウにフォルダ内のファイルが一覧で表示されます。

2 ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックします。

画像ファイルの内容がサムネイルウィンドウに表示されます。 動画ファイルの場合は、アイコンがサムネイルウィンドウに表示されます。



ファイルウィンドウで、目的のファイルアイコンをダブルクリックします。

選択したファイルがシナリオウィンドウ内に表示され、シナリ オに組み込まれます。

4

ファイルを追加するには、目的のファイルをシナリオ ウィンドウにドラッグ&ドロップします。

べてのファイル	Cmplan01.sit	
マイエンビュータ マイエンビュータ マイドキュント 「Internet Explorer オキャリワークエンビュータ マードーク マー マードーク マードーク マードーク マー マー マー マー マー マー マー マー マー	No. BEBK 7717426	
	2 DCSD0001.JPG	
	3 DCSD0002.JPG	
ルダー覧	4 DCSD0003.JPG	
ty Abums My eBooks My Pictures		
¥ 🕶 🖳 🗕		
e0001.bmp movie01.mpg Plan01.ppt		
ACCTUDE TO A CONTRACT OF A CON		

目的のファイルやスライドをドラッグ&ドロップで シナリオウィンドウ内に追加することができます。 5 複数のファイルを追加するには、キーボードの[Ctrl]キー を押したまま、追加したいファイルアイコンを順次ク リックします。追加したいファイルをすべて選択したら、 選択したファイルの1つをシナリオウィンドウの追加し たい場所にドラッグ&ドロップします。 選択したファイルがすべてシナリオに追加されます。

ポイント

ファイルの選択を解除するには、アイコン外の白い領域をクリックします。

シナリオを編集する

スライドやファイルを追加、削除したり順番を入れ替えたりしてシ ナリオを編集できます。

シナリオウィンドウに表示されている内容は、プロジェクターの CardPlayerで投写したとき、上から順番に投写されます。

■ ファイルやスライドを追加する

操作

ファイルウィンドウに表示されているファイルや、サムネイル ウィンドウに表示されている PowerPoint のスライドを、シナ リオウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ドロップしま す。

■ 削除する

操作

削除したいセルでマウスを右クリックし、表示されたメニュー (ショートカットメニュー)で「切り取り」を選択します。

■ 順番を入れ替える

操作

移動したいセルをシナリオウィンドウ内でドラッグ&ドロッ プして入れ替えます。 または、ショートカットメニューを表示し、「切り取り」を選択 後、「貼り付け」を実行して入れ替えます。

シナリオの転送

32

作成したシナリオをプロジェクターで投写するには、EMP SlideMaker2 の「シナリオ転送」でメモリカードやUSBストレージにシナリオを転送 します。

転送先には、以下のいずれかを指定します。

•コンピュータのカードドライブにセットしているメモリカード ●コンピュータのUSB端子に接続しているハードディスクまたはUSB メモリ

シナリオをプロジェクター起動時に自動的に投写したり、繰り返して 投写するように設定することもできます。自動的に投写する機能を 「オートラン」といいます。

ポイント

- ●「シナリオ転送」を実行すると、シナリオファイルが「シナリオ名 .sit」という名前で転送先に保存されます。また、シナリオ名と同名 のフォルダが作られ、各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに 変換され、そこに保存されます。
- ●保存を行わずに「シナリオ転送」を実行した場合は、作業用フォルダ 内にも「シナリオ名.sit」というファイルとシナリオ名と同名のフォ ルダが作られ、そこに各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに 変換され、保存されます。

操作 1 シナリオが完成したら、メモリカードまたはUSBスト レージをコンピュータにセットして「シナリオ操作」ー 「シナリオ転送」を選択します。

2 転送先のドライブを指定するダイアログボックスが表示 されます。メモリカードまたはUSBストレージがセット されているドライブを選択して「OK」ボタンをクリック します。



3)確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをク リックします。

シナリオが選択したドライブに転送されます。

4) 転送が終了すると、オートランの設定を行うか確認する メッセージが表示されます。オートランの設定をする場 合は、「OK」ボタンをクリックして次の手順に進みます。 設定をしない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックす ると終了します。





左側のシナリオファイルリストに、転送先ドライブ内の すべてのシナリオファイルが表示されます。

オートラン編集
ドライブ (2): □ リムーバブル ディスク▼ □ 繰り返し実行(2):
シナリオファイルリスト(E):オートランシナリオファイルリスト(A):
CMPLANDI SIT

6 シナリオを転送したメモリカードまたはUSBストレージ をプロジェクターにセットまたは接続してCardPlayerで 投写します。● p.45

オートランを行う場合

プロジェクターの電源を入れたときに、シナリオを自動投写す る場合は、シナリオファイルリストで目的のシナリオ名をク リックして、「≫」ボタンをクリックします。右側のオートラン シナリオファイルリストにシナリオが表示され、オートラン ファイルとして設定されます。

シナリオを繰り返し投写する場合

「オートランシナリオファイルリスト」に登録したシナリオの 投写終了後、自動的に最初から投写し直す場合は、「繰り返し実 行」にチェックマークを付けます。



- オートランの設定は、「シナリオ操作」−「オートラン編集」を選択しても実行できます。
- オートランの設定はEasyMPのCardPlayerでは指定できません。
- オートランに設定したファイルが2つ以上ある場合は、オートランシナリオファイルリストの上から順に再生されます。

こんなときには

シナリオの簡易作成

PowerPointの1つのファイルをそのままシナリオにする場合は、 PowerPointファイルのアイコンを、デスクトップ上のEMP SlideMaker2のプログラムアイコン上へドラッグ&ドロップします。



自動的にスライドショーが実行されます。

スライドショーの途中でキーボードの[Esc]キーを押すと、スライドショーが中止されます。その場合、実行済みのスライドだけがシナリオに組み込まれます。



- EMP SlideMaker2起動中はシナリオの簡易作成はできません。 EMP SlideMaker2を終了してから実行してください。
- PowerPointファイルの容量が大きい場合は、シナリオの組み込み が終了するまでに時間がかかります。
- PowerPointのファイルを複数選択してEMP SlideMaker2のプログラムアイコンへドラッグ&ドロップした場合、マウスカーソルが指しているアイコンのファイルだけがシナリオになります。
- シナリオの簡易作成を実行した場合、PowerPointのファイルにある すべてのスライドからシナリオを作成します。投写したくないスラ イドがある場合は、該当のセルを右クリックして「非表示」を選択し ます。
- PowerPointで設定できるアニメーションで、次のアニメーション はシナリオにも反映されます。

• スライドイン	• ブラインド	• ボックス
● チェッカーワイプ	• クロール	• ディゾルブ
• ピーク	• ランダムストライプ	• スパイラル
• スプリット	• ストレッチ	• ストリップ
・ターン	• ワイプ	・ズーム
上記以外のアニメーシ	/ョンは「カット」に置き換	えられます。



停止 一時停止 再生 巻き戻し 早送り

各ボタンの機能は次表のとおりです。

<u>■</u> 停止	再生を中止し、一番前のスライドに戻ります。
圓一時停止	シナリオ動作が「自動」に設定されているスライ ドを一時停止します。 ☞ p.37
▶再生	シナリオプレビューを開始します。また、停止または一時停止しているシナリオを再開します。シナリオ動作が「手動」に設定されている場合は、次のスライドを表示します。 ● p.37
➡巻き戻し	現在表示しているスライドの1つ前のスライドま たはアニメーション実行前の画面に戻ります。戻 る際はアニメーション効果は実行されません。
■早送り	現在表示しているスライドの1つ先のスライドまたはアニメーション実行後の画面に進みます。このときアニメーション効果は実行されません。
▲ボリューム	Volume Controlを起動します。BGMの音の大きさを調整できます。
進行状況バー	シナリオの進行状況をバーで表示します。開始時 はバーの表示はなく、進行するにしたがって左か ら右にバーが伸びていきます。一番右までバーが 達すると終了です。

4 確認し終わったら、画面右上の「図」ボタンをクリックしてシナリオプレビュー画面を閉じます。

アニメーションの設定を行う

EMP SlideMaker2では、PowerPointのアニメーション効果と同様の効 果をシナリオ内の各セルに設定できます。PowerPoint で設定したア ニメーションを保持しているスライドは、分割されたコマごとに投 写時間やアニメーションを設定して投写することができます。この 場合は、アニメーション確認ウィンドウで目的のアニメーションを 右クリックして「セルのプロパティ」をクリックします。



あらかじめ PowerPoint でアニメーションを設定したファイルをシナ リオに組み込んだ方が、シナリオ再生時のアニメーションの動作が なめらかです。PowerPoint のスライドにアニメーションを設定した い場合は、PowerPoint で設定することをお勧めします。画像ファイル にアニメーションを設定したい場合や、設定したアニメーションを 保持せずに、シナリオに組み込んだスライドにアニメーションを設 定したい場合は、ここで説明している方法で設定します。

操作

目的のセル、またはアニメーションで右クリックし、 「セルのプロパティ」を選択します。

複数のセル、またはアニメーションに同じ設定をする場合は、 キーボードの[Shift]キー、または[Ctrl]キーを押したままク リックして複数のセルを選択してから、右クリックして「セル のプロパティ」を選択します。





こんなときには

37

2) プロパティ画面が表示されます。次の表を参照して項目 を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

フロパティ			×
セル情報			
参照ファイル	DCSD0000.JPG		
- シナリオ動作- C 手動(M):		表示属性	ta.
● 自動(<u>A</u>):	30 秒	アニメーション効果(型) 方向(型):	
	OK	4+2121	

シナリオ動作	「自動」を選択した場合は、切り替える時間を0秒から1800秒の間で設定できます。「手動」にした場合は、投写時にリモコンの[・]または[・]ボタンを押して切り替えます。
アニメーショ ン効果	投写中に画面を切り替えるときの効果を指定できます。 選択したアニメーションによっては、「方向」を選択します。 効果の一例を次に示します。 スライドイン:指定した方向から画面を切り替えます。 ボックスワイプイン:内側から画面を切り替えます。



プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)

ここでは、EMP SlideMaker2で転送したシナリオと、画像・動画ファイルをプロジェクターで投写する操作を説明します。

CardPlayerで投写できるファイル	
CardPlayerの使用方法	
• CardPlayer の起動方法	40
• CardPlayer の終了方法	41
• CardPlayer の基本操作	
・Easy メニューの操作方法(ガイドモード)	
・クイックモードでの操作方法	44
 ・画像を回転する 	
シナリオの投写	
 シナリオの再生 	45
• プレゼンテーション中の操作	
 シナリオからスライドを選んで投写する 	
 シナリオの編集 	

画像・動画ファイルの投写	.49
 ●画像・動画を投写する 	. 49
 フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に 	
投写する(スライドショー)	. 50
画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを	
設定する	.51

CardPlayerで投写できるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
シナリオ	.sit	シナリオ転送で作成されたシナリオ ファイルです。 シナリオ作成時にでBGM設定した音 声(.wav)も再生できます。 EMP-7850、EMP-835、ELP-735/715/505 に添付のEMP SlideMakerで作成した シナリオも投写できます。
画像	.bmp	24ビットカラーのもののみ投写でき ます。
	.gif	解像度が1024×768を超えるものは投 写できません。
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、 CMYKカラーモード形式、プログレッ シブ形式、解像度が2560×1920を超え るものは投写できません。
	.png	解像度が2560×1920を超えるものは 投写できません。
動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×576ま でで、DVDと同じ(シーケンスヘッダ がGOPごとに配置されている)形式で ないと再生できません。 再生できる音声形式は、MPEG1レイ ヤー2です。リニアPCMとAC-3は再生 できません。
<u>DPOF</u> ₩	.mrk	DPOFのバージョンが1.10で、ファイ ル名がAUTPLAYx.mrk (xは0~9の数 字)のもののみ投写できます。



- ・
 拡張子が「.jpeg」のJPEGファイルと「.mpeg」のMPEGファイルは投 写できません。
- JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写され ないことがあります。
- 動画を再生する場合、使用するメモリカードは、コンパクトフラッシュカードまたはカード型のハードディスクドライブを推奨します。上記以外のメモリカードを使用すると、正しく再生できないことがあります。また、アクセス速度が遅いコンパクトフラッシュカードや、USBストレージ(高ビットレート再生のとき)を使用すると、正しく再生されなかったり、音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。

CardPlayerの使用方法

EasyMP 活用ガイド

CardPlayer では、デジタルカメラの画像ファイルや、メモリカード・USB ストレージ内のシナリオ・画像・動画ファイルを再生し、投写できます。 ここでは、CardPlayerの基本的な使用方法について説明します。

CardPlayerの起動方法



3 リモコンの[EasyMP]ボタンを押して投写画面に 「EasyMP」と表示されるのを確認してください。

CardPlayer が起動してメモリカード、またはデジタルカメラ、 USB ストレージの内容が表示されます。JPEG ファイルはサム ネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。そ れ以外のファイルとフォルダはアイコン表示されます。



40



- オートランの設定をしたシナリオがメモリカードにある場合は、最優先でそのシナリオが自動的に再生されます。再生を中止したい場合は、リモコンの[戻る]ボタンを押します。
- プロジェクターのカードスロットにメモリカードがセットされていない、またはプロジェクターとデジタルカメラ、プロジェクターとUSBストレージが接続されていないと、次の画面が表示されます。この場合は、メモリカードをセットするか、デジタルカメラまたはUSBストレージを接続すると、手順3の画面が表示されます。



- プロジェクターにメモリカードがセットされ、CardPlayerで内容が 表示されているときに、デジタルカメラまたは USB ストレージを プロジェクターに接続しても、その内容を表示することはできません。同様に、デジタルカメラまたは USB ストレージが接続され、 CardPlayerで内容が表示されているときに、メモリカードをセット しても、その内容を表示することはできません。
- JPEGファイルによっては、サムネイル表示に切り替えてもサムネ イルが表示できないことがあります。その場合はファイルアイコン が表示されます。

CardPlayerの終了方法



リモコンの[◎]ボタンを上に傾けて「EJECT」ボタンに カーソルを合わせます。





リモコンの[決定]ボタンを押します。 CardPlayerが終了し、次の画面が表示されます。







プロジェクターのカードスロットからメモリカードを取 り出します。

デジタルカメラまたはUSBストレージを接続している場合は、接続している機器の電源を切り、プロジェクターの [USB TypeA]端子から取り外します。

ターポイント

CardPlayerを終了しEasyMP待機画面が表示された状態で、メモリ カード(またはUSBストレージ)を差し込んだままのときに、再度 CardPlayerを起動するには、メモリカード(またはUSBストレージ) を一度取り外し、再度差し込んでください。

CardPlayerの基本操作

CardPlayerの操作には、次の2つの操作モードがあります。

- 「ガイドモード」:ファイル操作をするためのEasyメニューが表示されます。Easyメニューで項目を選択してファイルの再生やオプション設定などの操作をします。
- 「クイックモード」:ファイルの再生、フォルダを開く、シナリオ編集時の移動元スライド選択と移動先決定を、 Easyメニューを使わずにリモコンの[決定] ボタンを押すだけで実行できます。

初期設定では「ガイドモード」に設定されています。操作モードの設定方法については、「画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する」をご覧ください。 (● p.51

クイックモードでの操作方法については、「クイックモードでの操 作方法」をご覧ください。 **●** p.44 Easyメニューの操作方法(ガイドモード)
 Easyメニューを使ってシナリオ、画像、動画の再生などをする手順を説明します。

操作



リモコンの[◎]ボタンを傾けて、操作の対象となるファ イルまたはフォルダにカーソルを合わせます。



パイント

現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダが表示しきれてい ない場合は、リモコンの[・]ボタンを押すか、「次のページ」ボタンに カーソルを合わせてリモコンの[決定]ボタンを押します。 前の画面に戻る場合は、リモコンの[・]ボタンを押すか、「前のペー ジ」ボタンにカーソルを合わせてリモコンの[決定]ボタンを押しま す。





リモコンの[決定]ボタンを押します。 Easyメニューが表示されます。



ポイント

[決定]ボタンを押したときに、シナリオ、画像、動画が再生されたり、 フォルダが開いたりする場合は、操作モードが「クイックモード」に なっています。 ● p.44

Easy メニューは選択するものによって以下のように表示される項目が異なります。

シナリオを選択した場合

シナリオ再生	シナリオを再生します。 🖝 p.45
シナリオ編集	シナリオの編集画面を表示します。 🖝 p.47
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

画像ファイルを選択した場合

画像再生	画像を再生します。 ☞ p.49
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

動画ファイルを選択した場合

動画再生	動画を再生します。 🖝 p.49
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

フォルダを選択した場合

フォルダを 開く	フォルダを開いてフォルダ内のファイルを表示します。 フォルダを開いた画面で、左上のフォルダアイコンを選 択して[決定]ボタンを押します。表示されたメニューで 「一つ上の階層へ」を選択して[決定]ボタンを押すと フォルダを開く前の画面に戻ります。
スライド ショー再生	フォルダ内の画像ファイルや動画ファイルを順次再生 します。 🖝 p.50
オプション	オプション設定画面を表示します。CardPlayerでスライドショー再生するときの表示条件と動作モードを設定できます。 🆝 p.51
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

EasyMP 活用ガイド

■ クイックモードでの操作方法

クイックモードでは次のように、リモコンの[決定]ボタンを押すと 主な機能を直接実行できます。リモコンの[戻る]ボタンを押すと Easyメニューが表示され、別の機能を実行することもできます。

ファイルまたはフォルダ選択時

[決定]	フォルダ:開く シナリオ、画像、動画:再生
[戻る]	Easyメニュー表示

シナリオ編集中

[決定]	移動元スライド選択、移動先決定
[戻る]	Easyメニュー表示、移動状態解除

■ 画像を回転する

CardPlayerで再生したJPEG形式の画像を90°単位で回転できます。ス ライドショー実行時に再生されるJPEG形式の画像も回転できます。 次の手順でJPEG形式の画像を回転します。

操作



2 JPEG 形式の画像が再生されたら、リモコンの[◎]ボタン を左右に傾けます。

[۞]ボタンの傾ける方向と画像の回転は下図のとおりです。

左

右













シナリオの投写

ここでは、メモリカードやUSBストレージに転送したシナリオの再生 方法とシナリオ再生中の操作方法、シナリオの編集方法について説明 します。

シナリオの再生

再生するシナリオは、事前に EMP SlideMaker2 の「シナリオ転送」機能でメモリカードやUSBストレージに転送しておきます。 ● p.32



シナリオにオートランや繰り返しの設定ができます。 🖝 p.32

操作

1

CardPlayerを起動します。 🖝 p.40

セットしているメモリカード、またはUSBストレージの内容が 表示されます。

- 2 リモコンの[◎]ボタンを傾けて、再生するシナリオファ イルにカーソルを合わせます。
- ④ 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。
 - ガイドモード:[決定]ボタンを押すと、Easy メニューが表示さ れます。[@]ボタンを上下に傾けて「シナリオ 再生」を選択して[決定]ボタンを押します。



- シナリオファイル

EasyMP 活用ガイド

クイックモード:[決定]ボタンを押します。

 ◆ナリオが再生されます。「シナリオ動作」が「自動」に設定されている場合は最後まで再生すると、ファイル一覧表示に戻ります。繰り返し設定がされているときは、最後まで再生すると最初から再生を繰り返します。

 ジナリオ動作」が「手動」に設定されている場合や、中止、停止を行うには、次の「プレゼンテーション中の操作」をご覧ください。

 シテリの変更や表示・非表示の設定は、シナリオ編集画面で行います。

 • ク.47

プレゼンテーション中の操作

シナリオ再生中は、リモコンで次の操作ができます。

画面切り替え	[決定]またはページ[・]ボタンを押すと、次の画面に進みます。
	ページ[1]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
再生の中止	[戻る]ボタンを押すと、「シナリオ再生を終了します
	か?」とメッセージが表示されます。「終了する」ボタン
	を選択して[決定]ボタンを押すと終了します。「戻る」ボ
	タンを選択して[決定]ボタンを押すと再生を続けます。

プロジェクター本体の次の機能はCardPlayerでシナリオや画像ファ イルを投写しているときも同様に使えます。

•静止 • A/Vミュート • Eズーム

各機能の詳細 ☞『取扱説明書』「静止機能」、「A/Vミュート機能」、「Eズーム機能」

シナリオからスライドを選んで投写する

シナリオで使用しているスライドの一覧を表示し、画像や動画を選 んで投写できます。



1) CardPlayerを起動します。 🖝 p.40

セットしているメモリカード、またはUSBストレージの内容が 表示されます。



リモコンの[◎]ボタンを傾けて、シナリオアイコンと同 名のフォルダにカーソルを合わせます。





ガイドモード :[決定]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。[@]ボタンを上下に傾けて「フォ ルダを開く」を選択して[決定]ボタンを押し ます。



クイックモード:[決定]ボタンを押します。

シナリオの投写

47



フォルダ内のスライドが表示されます。リモコンの[◎] ボタンを傾けて、再生するスライドにカーソルを合わせ ます。

ターポイント

アニメーションが設定されているスライド(拡張子が.EMA)はフォ ルダ表示されます。このフォルダ内にはアニメーションの各部分に 分かれたスライドが収録されているため、指定再生できません。



使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。

ガイドモード :[決定]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「画像再生」または「動 画再生」を選択して[決定]ボタンを押しま す。



クイックモード:[決定]ボタンを押します。



選択したスライドが再生されます。リモコンの[決定]ボ タンまたは[戻る]ボタンを押すと、スライドー覧表示に 戻ります。別のスライドを再生するには、手順4から繰り 返します。

シナリオの編集

プロジェクターにセットしているメモリカード、またはUSBスト レージに格納しているシナリオに対して、スライドの投写する順番 を変更したり、各スライドの表示・非表示を編集したりできます。

操作

- 1 リモコンの[◎]ボタンを傾けて、編集するシナリオアイ コンにカーソルを合わせます。
- 2 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。
 - ガイドモード :[決定]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「シナリオ編集」を選択 して[決定]ボタンを押します。
 - クイックモード:[戻る]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「シナリオ編集」を選択 して[決定]ボタンを押します。



目的のスライドにカーソルを合わせます。 スライドの順番を入れ替える場合→手順4へ進む スライドを非表示にする場合 →手順6へ進む



シナリオの投写

EasyMP 活用ガイド



5

使用中の操作モードに合わせて、リモコンの以下のボタンを押します。

- ガイドモード :[決定]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「ファイル移動」を選択 して「決定]ボタンを押します。
- クイックモード:移動したいスライドにカーソルを合わせて [決定]ボタンを押します。

カーソルを移動先に合わせ、リモコンの[決定]ボタンを



- 6 スライドを表示しないようにする場合は、目的のスライドにカーソルを合わせて、使用中の操作モードによりリモコンの以下のボタンを押します。
 - ガイドモード :[決定]ボタンを押すと、Easyメニューが表示 されます。メニューで「表示/非表示」を選択し て「決定]ボタンを押します。
 - クイックモード: [戻る] ボタンを押すと、Easyメニューが表示 されます。メニューで「表示/非表示」を選択し て [決定] ボタンを押します。

 EuryMP Card Player
 エヨロヘージ
 マスワベーダ
 キャンセル
 OK

 第表示 CHPLANDI.SIT
 「「「」」」」」」」
 「「」」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」」
 「」」
 「」」
 「」」」
 「」」」
 「」」
 「」」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 「」」
 」
 <t



編集した内容でシナリオが保存され、ファイルー覧表示に戻り ます。

保存しない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソルを合わせ て、リモコンの[決定]ボタンを押します。

48

画像・動画ファイルの投写

デジタルカメラの画像ファイルや、メモリカード・USB ストレージ内の 画像・動画ファイルをCardPlayerで投写するには、次の2通りの方法があ ります。

• 画像・動画ファイルの投写

1つのファイルの内容を再生して投写する機能です。

フォルダ内の画像・動画ファイルの順次投写(スライドショー)
 フォルダ内のファイルの内容を、順番に1つずつ再生して投写する
 機能です。

動画投写時は頻繁にメモリカードやUSBストレージにアクセス します。そのときにメモリカードをカードスロットから取り出 したり、USBストレージの接続を外さないでください。 CardPlayerに異常が発生する場合があります。

画像・動画を投写する



1

CardPlayerを起動します。 🖝 p.40

セットしているメモリカード、または接続しているデジタルカ メラやUSBストレージの内容が表示されます。

2 リモコンの[◎]ボタンを傾けて、投写する画像ファイル または動画ファイルにカーソルを合わせます。

3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。

ガイドモード:[決定]ボタンを押すと、Easyメニューが表示さ れます。メニューで「画像再生」または「動画再 生」を選択して「決定]ボタンを押します。

EasyMP 活用ガイド



クイックモード:[決定]ボタンを押します。



画像または動画が投写されます。リモコンの[決定]ボタンまたは[戻る]ボタンを押すと、ファイル一覧表示に戻ります。





画像・動画ファイルの投写



フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に投写する(スライドショー)

フォルダ内の画像・動画ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能を「スライドショー」と呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。



繰り返して投写したり画面切替時の表示に効果をつけるなどの表示 条件を設定できます。スライドショーで動画・画像ファイルを自動的 に切り替えて表示するには、CardPlayerのオプションで表示時間設 定を「なし」以外に設定してください。初期設定:なし (p.51



1

CardPlayerを起動します。 🖝 p.40

セットしているメモリカード、または接続しているデジタルカ メラやUSBストレージの内容が表示されます。

2 リモコンの[◎]ボタンを傾けて、スライドショーを実行 するフォルダにカーソルを合わせます。

3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。

- ガイドモード :[決定]ボタンを押すと、Easy メニューが表示さ れます。メニューで「スライドショー再生」を選 択して[決定]ボタンを押します。
- クイックモード:[戻る]ボタンを押すと、Easyメニューが表示さ れます。メニューで「スライドショー再生」を選 択して[決定]ボタンを押します。

4 スライドショーが実行され、フォルダ内の画像・動画ファ イルが順に1つずつ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。 オプション画面で「繰り返し再生」を「ON」に設定しているとき は、最後まで投写すると最初から投写を繰り返します。

p.51

シナリオと同様、スライドショー投写中は次画面に送る、前画 面に戻す、再生を中止することができます。 ●「プレゼンテー ション中の操作」 p.46

パイント

オプションで表示時間設定を「なし」に設定している場合、スライド ショー再生を実行しても自動的にはファイルが切り替わりません。 リモコンの[決定]または[1]ボタンを押して、次のファイルを投写 します。

|画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する EasyMP 活用ガイド

CardPlayer で画像・動画ファイルをスライドショー再生する場合の 表示条件と操作モードを設定できます。表示条件で設定できる内容 は繰り返し再生、表示時間設定、表示順序設定、画面切替効果、操作 モード切り替えです。

操作

1 リモコンの[◎]ボタンを傾けて、表示条件を設定する フォルダにカーソルを合わせます。

- 2 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。
 - ガイドモード :[決定]ボタンを押すと、Easyメニューが表示 されます。メニューで「オプション」を選択し て[決定]ボタンを押します。
 - クイックモード:[戻る]ボタンを押すと、Easyメニューが表示 されます。メニューで「オプション」を選択し て[決定]ボタンを押します。

3 各項目を設定します。

変更したい項目の設定にカーソルを合わせ、リモコンの[決定] ボタンを押すと、設定が有効になります。 各項目の詳細は次の表のとおりです。



繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定しま す。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する 時間を設定します。ここで設定した時間が経過する と、自動的に次のファイルが表示されます。「なし」 に設定すると、スライドショー再生を実行しても自 動的にはファイルが切り替わりません。「なし」に設 定した場合は、リモコンの[決定]または[①]ボタン を押して、次のファイルを表示します。
表示順序設定	表示するファイルの順番を設定します。
画面切替効果	ファイルの内容を表示するときの効果を設定しま す。
操作モード切 替	CardPlayerでの操作モードを切り替えます。 初期設定は「ガイドモード」です。 ガイドモードの操作方法は「Easyメニューの操作方 法(ガイドモード)」(● p.42)を、クイックモードの 操作方法は「クイックモードでの操作方法」 (● p.44)をご覧ください。



画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する

52



リモコンの[◎]ボタンを上に傾けて「OK」ボタンにカー ソルを合わせ、[決定]ボタンを押します。

設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソル を合わせて、[決定]ボタンを押します。



CardPlayerのオプション設定は、環境設定画面で行うこともできます。

Lasylvin			EPSON
	無線LANカード、 またはデジタルカメ	メモリカードを挿入。 ラを接続してください。	
Netv	work Screen	Card Player	
有線・無線し	■接続でRC画面を映します。	動画や画像データを再生しま	ग ्
E/		E	
有線L編 プロジェクタ	無線L編 アー名:EMP012345 1.アド	Rカード デジタル: ホックモードで接続待機中です。	
ESSID キーワード	: EPSON PCの 合わ : 1234 2. 接続	無線L舗をアドホックモードにし、ESSIO(ネッ っせてください。 NEPは無効です。 Sソフト(EMP NS Connection)を起動して、接	ットワーク名)を 続してください。
00			W10187
EasyMP		キャンセル	ОК
EasyMP Network Screen	環境設定/CardPlayer/オプション	キャンセル	ок
EasyMP Network Screen 有線LAN 基本設定	環境設定/CardPlayer/オブション 繰り返し再生	キャンセル マ のN のFF	ОК
EasyMP Network Screen 有線LAN 基本設定 無線LAN	^{課法設立[CardPlayed} /オプション 線の返し再生 表示時間設定	キャンセル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	OK
EasyMP Network Screen 有線LAN 基本設定 無線LAN 基本設定 セキュリティ	^{現決設立} (LardPierer/オブション 縁の返し再生 表示時間設定	キャンセル ・ ・ のN ・ のFF ・ なし ・ 10秒 ・ 20秒 ・	0K 30秒 1分
EasyMP Network Screen 有線LAN 基本設定 無線LAN 基本設定 セキュリティ ネットワーク メール	■ABCC/LandPlayer/オプション 繰り返し再生 表示時間設定 表示順序設定	キャンセル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0K 30砂 1分
EasyMP Network Screen 有線LAN 基本設定 無線LAN 基本設定 セキュリティ ネットワーク メール SNHP	¹⁹ 34/827(tardPlayer(/オブション 繰り返し再生 表示時間設定 表示順序設定 画面切替効果	キャンセル ・ 0N ・ 0FF ・ なし ・ 10砂 ・ 20砂 ・ ファイル名類 ・ 時刻順 ・ なし	0K 30秒 1分 ワイブ
EasyMP Network Screen 有線LAN 基本設定 無線LAN 基本設定 セキュリティ ネットワーク メール SNHP Card Player	■ABCC/LandPlayer/オプション 繰り返し再生 表示時間設定 表示順序設定 画面切替効果	キャンセル 〇 0N 〇 0F 〇 なし 10秒 〇 20秒 〇 ファイル名類 〇 応し ○ 応し ○ ディゾルブ 〇 ポイドモード	0K 300秒 1分 ワイブ ランダム
EasyMP Network Screen 有線LAN 基本設定 無線LAN 基本設定 生きュリティ ネットワーク メール SNHP Card Player オプション	■AB2C/CardPlayer(/オプショ) 繰り返し再生 表示時間設定 表示順序設定 画面切替効果 操作モード切替	キャンセル ・ 0N ・ 0FF ・ なし ・ 10砂 ・ 20秒 ・ ファイル名類 ・ 時刻順 ・ なし ・ ディゾルブ ・ ガイドモード ・ クイックモード	0К 3008) 1分 747 529 А



コンピュータを使ってプロジェクター の設定・監視・制御をする

ここでは、ネットワークを介して接続したコンピュータを使って、プロジェクターの設定を変更したり、管理したり する方法を説明しています。

Webブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb).	54
• EasyWeb を表示する	54
・Network Screen のツールバーを使う	54
 ・プロジェクターの IP アドレスを入力する 	55
•プロジェクターの設定	55
・Web ブラウザで設定できない環境設定メニューの	
項目	55
・Web ブラウザで設定できるネットワーク設定の項目…	55
• プロジェクターの制御	55
メール通知機能で異常を通知する	56
 メール通知機能の設定	
• 異堂通知のメールが送られてきたら	57
SNIMPを使って管理する	58

Webブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb)

プロジェクターとネットワーク接続したコンピュータの Web ブラウザ を利用して、コンピュータからプロジェクターの設定や制御が行えま す。この機能を使えば、プロジェクターから離れた場所から、設定や制 御の操作ができます。また、キーボードを使って設定内容を入力できる ので、文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer 6.0以降を使用してくださ い。Macintoshをお使いの場合は、Safariも使用できます。ただし、 Macintosh 10.2.8でSafariをお使いの場合はEasyWeb上のラジオボタンが 一部正しく表示されないことがあります。

ポイント

プロジェクターの環境設定メニューの「拡張設定」→「待機モー ド」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタ ンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御 ができます。

EasyWebを表示する

以下のどちらかの手順で、EasyWebを表示します。

ポイント

ご使用の Web ブラウザで、プロキシサーバを使用して接続するよう に設定されていると、EasyWeb を表示できません。表示したい場合 は、プロキシサーバを使用しないで接続するように設定してくださ い。

Network Screen のツールバーを使う

1

2



●『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「コンピュータとプロ ジェクターをネットワーク接続する」

Network Screenのツールバーの「プロジェクター操作 URL表示」アイコンをクリックします。

🖳 🗐 🗽 🔻 🖓 🔤 📟 🛶 切断

Webブラウザが起動し、EasyWebが表示されます。





プロジェクターの IP アドレスを入力する

プロジェクターのネットワーク設定で「アクセスポイントモード」に 設定している場合、または有線 LAN 接続モードで接続している場合 は、次のようにプロジェクターのIPアドレスを指定してEasyWebを開 くことができます。



2

コンピュータでWebブラウザを起動します。

Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIP アドレスを入力し、コンピュータのキーボードの[決定] キーを押します。 EasyWebが表示されます。

プロジェクターの設定

プロジェクターの環境設定メニューや、EasyMPの環境設定画面で 設定する項目を設定できます。設定した内容は、環境設定メニュー やEasyMPの環境設定に反映されます。

■ Web ブラウザで設定できない環境設定メニューの項目

次の項目を除いて、プロジェクターの環境設定メニューの全項目を 設定できます。

- ●「設定」→「ポインタ」
- ●「拡張設定」→「ユーザーロゴ」によるユーザーロゴの登録
- ●「拡張設定」→「言語」
- ●「初期化」→「全初期化」、「ランプ点灯時間初期化」

各メニューの項目の内容はプロジェクター本体の環境設定メニューと同じです。

●『取扱説明書』「環境設定メニューの機能と操作」

■ Web ブラウザで設定できるネットワーク設定の項目

EasyMPの環境設定画面でのネットワークに関する全設定項目を設 定できます。ただし、「MACアドレス」は表示されません。 各項目の内容は、EasyMPの環境設定画面と同じです。 ●『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「簡単接続モード(無線 LAN)で接続す る」、「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」 設定を変更した場合は、「反映」ボタンをクリックすると設定内容が 反映されます。

プロジェクターの制御

EasyRemote を使うと、リモコンでプロジェクターを制御するのと同 じように制御できます。●『取扱説明書』「リモコン」



メール通知機能で異常を通知する

EasyMPのネットワーク設定でメール通知機能の設定をしておくと、プロジェクターが異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所にいてもプロジェクターの異常を知ることができます。

ポイント

- ●送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで「拡張設定」→「待機モード」 を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタン バイ状態(電源OFFの状態)でも、監視ができます。

メール通知機能の設定

メール通知機能を設定する前に、次の点をご確認ください。

- プロジェクターとコンピュータがアクセスポイントモードまたは 有線 LAN 接続モードで接続できるように、ネットワーク設定をし ておきます。
- ●『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモード または有線LANモードで接続する」

操作

1

プロジェクターをEasyMP待機画面にします。

●『EasyMPネットワーク設定ガイド』「プロジェクターを接続 待機状態にする」 EasyMP 活用ガイド

- 2 画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。
- 3 「ネットワーク」-「メール」ボタンにカーソルを移動し、 リモコンの[決定]ボタンを押します。

4 設定する項目にカーソルを移動し、[決定]ボタンを押して各項目を設定します。

項目によっては文字や数値の入力が必要な場合があります。文字や数値の入力方法は「文字や数値の入力方法」(● p.20)を ご覧ください。

EasyMP		キャンセル	OK
Network Screen	環境設定/NetworkScreen/ネットワーク/メール		
有線LAN 基本設定 無線LAN 基本設定	メール通知機能 SMTPサーバIPフドレス ポート番号 宛先メールアドレス1 縦キメールアドレス2	ON C 000.000.000.000 00025) OFF
セキュリティ ネットワーク	宛先メールアドレス3 宛先メールアドレス3 通知イベントの指定 内部環常	1	2 3
メール SNMP	ファン業帯 センサ業帯 ランプ点灯失敗 ランプのれ ランプれい「開伏料路		
Card Player オプション	ウェックオー milota 内部高温発発 高速冷却中 ランプ交換約告 ノーシグナル		
Enter 決定	● 選択 ESC 戻る	 最上段へ移動 	11 環境設定

メール通知機能	メール通知を行う場合に「ON」を選択します。
SMTPサーバIP アドレス	プロジェクターが使うSMTPサーバのIPアドレス を入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力 できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できま せん。127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255(xは0~ 255の数字)
ポート番号	SMTPサーバのポート番号を入力します。初期値 は25です。 1~65535までの有効な数値を入力できます。
宛先メール アドレス1/2/3	通知メールの送信先のメールアドレスを、最大3件 まで登録できます。 半角英数字で最大53文字まで入力できます。 EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力 はできません。EasyWebから設定すると、32文字を 超える入力ができます。 ● p.54
通知イベントの 指定	メールで通知するプロジェクターの異常/警告を 選択します。選択した異常/警告がプロジェクター で起きたときに、「宛先メールアドレス」で指定し たメールアドレスに異常/警告が発生したことを 通知します。 表示されている項目より複数選択できます。

※「クリア」ボタンが表示される項目では、「クリア」ボタンを選 択してリモコンの[決定]ボタンを押すと、入力内容が消去さ れます。

リモコンの[⊡]ボタンを押してカーソルを「OK」ボタンに 移動し、[決定]ボタンを押します。

EasyMP待機画面に戻ります。

5

異常通知のメールが送られてきたら

メール通知先に設定した**IPアドレス**[▶]に、件名が「EPSON Projector」 と記載されたメールが送信されてきたら、それがプロジェクターの 異常を通知するメールです。

メールの本文には次のことが記載されています。 1行目:異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名 2行目:異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス 3行目以降:異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す 内容は次表のとおりです。

メッセージ [※]	原因	対処方法
Internal error	内部異常	☞『取扱説明書』「インジ
Fan related error	ファン異常	ケータの見方」
Sensor error	センサ異常	
Lamp cover is open.	ランプカバー開状態	
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗	
Lamp out	ランプ切れ	
Internal temperature error	内部高温異常 (オーバーヒート)	
High-speed cooling in progress	高速冷却中	
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告	
No-signal	ノーシグナル	プロジェクターに映像信号 が入力されていません。接 続状態や、接続している機 器の電源が入っているかを 確認してください。

※メッセージの最初に(+)や(-)が付きます。

(+):本機に異常が発生した場合

(-):本機の異常が対処された場合

SNMPを使って管理する

EasyMP 活用ガイド

EasyMPのネットワーク設定で SNMPの設定をしておくと、プロジェク ターが異常/警告状態になったとき、設定したコンピュータに異常状態 が通知されます。これにより、離れた場所で集中管理している状態でも プロジェクターの異常を知ることができます。

パイント

- SNMP による管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワーク に詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使ってプロジェクターを監視するには、コンピュータ 側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要 があります。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANの簡単接続モードでは使用できません。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録でき、1番目に指定したIPアドレ スに通知できなかった場合、2番目のIPアドレスに通知されます。

操作

1

プロジェクターをEasyMP待機画面にします。

●『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「プロジェクターを接続 待機状態にする」

- 2 画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。
- 3 「ネットワーク」--「SNMP」ボタンにカーソルを移動し、リ モコンの[決定]ボタンを押します。

4 設定する項目にカーソルを移動し、[決定]ボタンを押して各項目を設定します。

数値の入力方法は「文字や数値の入力方法」(☞ p.20)をご覧く ださい。



SNMP*	SNMPのトラップ [▶] を通知するコンピュータのIP
<u>トラップIPアド</u>	アドレスを入力します。
レス 1/2	「SNMPトラップIPアドレス1」で指定したIPアドレ
	スに通知できなかった場合、「SNMPトラップIPア
	ドレス2」で指定したIPアドレスに通知されます。
	アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力
	できます。
	ただし、以下のIPアドレスは使用できません。
	127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の
	数字)

※「クリア」ボタンが表示される項目では、「クリア」ボタンを選 択してリモコンの[決定]ボタンを押すと、入力内容が消去さ れます。



5

リモコンの[⊡]ボタンを押してカーソルを「OK」ボタンに 移動し、[決定]ボタンを押します。

EasyMP待機画面に戻ります。

EasyMP 活用ガイド

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますの でご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を 装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外 で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、 その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくク ラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていま すが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障 害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてくだ さい。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JISC 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V は、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc.の登録商標です。
Windows、WindowsNTは米国マイクロソフト社の登録商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
Cisco Systemsは米国その他の国におけるシスコシステムズ株式会社の登録商標です。
Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。
EasyMPはセイコーエプソン株式会社の商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
Portions Copyright©2003 Instant802 Networks Inc. All rights reserved.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。